

## 令和4年度 日置市教育委員会定例会(8月)

- 日 時：令和4年8月22日(月) 午後2時00分～午後2時50分
- 場 所：日置市中央公民館 研修2・3(3階)
- 出席者：奥教育長  
委 員：内村委員・中島委員・胸元委員・鶴木委員  
事務局：久木崎(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)  
立和名(社会教育課長)・恒吉(東市来支所教育振興課長)  
迫田(日吉支所教育振興課長)・山下(吹上支所教育振興課長)  
宮前(教育総務課長補佐)

### 1 開会

奥教育長：ただ今から日置市教育委員会8月の定例会を始めさせていただきます。

### 2 前回議事録の承認

奥教育長：まず、前回7月の議事録の承認をしていただきます。お配りしてあったと思いますが、修正等がございましたらお出してください。

(特になし)

よろしかったでしょうか。

(特になし)

それでは7月の議事録は承認とさせていただきます。

### 【前回の議事録承認】

なお署名・押印は、内村委員と中島委員にお願いいたします。

### 3 委員及び教育長の報告

奥教育長：委員及び教育長の報告に移ります。中島委員からお願いいたします。

中島委員：前回の定例会以降、出会等があったものについて報告させていただきます。

7月25日、市町村教育委員会の委員研修会が自治会館でござい

ました。当日は10時から15時まで昼食を挟んでの内容で、鹿児島県下の各市町村の教育委員の方が出席され、参加人数は76名と記載がございました。まず、冒頭に東條教育長から現状についての報告、内容についての説明等があった後に、各課全部で10の課長から各課の内容についての説明がございました。前半の部では、学力向上、生徒指導の充実、教職員における業務改善に向けた今後の取組等について、それから人権教育、地域を支える次世代の人づくり、文化財の保存・活用についての説明があった後、昼食を挟んで午後から、安全・安心な公立小中学校施設整備の促進、安全推進体制の充実及び安全指導の徹底、全国高等学校総合文化祭について、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会についても説明がございました。最後に、特別支援教育の推進ということで各市町村の方から課題が出された内容について協議が行われた内容となっております。

今回のこの会に出席させていただいて、まず高校総体、インターハイはよく私も耳にしますが、総合文化祭推進室長の室長から、文科系の総合大会、総文というらしいですが、全国高等学校総合文化祭が来年、47回目で鹿児島が最後ということで、執り行われます。このことについて説明がございました。私も知りませんでした。貰った資料等を見ると、各文科系の内容について県内各地に会場が設けられ、日置市でも日本音楽が開催されるということで、来年ですが、時間があればぜひ参加させていただきたいと思いました。

協議の「特別支援教育の推進」の部分について思ったのは、離島の教育委員の先生から、「教育の場所の提供などありますが、指導する先生方の確保が難しい」と。やはり配置等ありますが、各支援に当たっての指導のキーとなる先生の育成が難しいと話がありました。本市においても色々な形で特別支援の配置があり、その部分については本市においては充実していると思う反面、そういった離島の現状について話を聞くと、ぜひ、そういった部分も充実させてほしいと思いました。以上、前回の定例会以降、出会したのはこの1件でした。重ねて前回は総合教育会議、それから定例会を私用につき欠席させていただきました。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。鶴木委員、お願いいたします。

鵜木委員：はい。私も今、中島委員が報告なさったように、同じ教育委員研修会に出席させていただきましたが、この中で文部科学省から出向している義務教育課の加藤課長が、これからの社会で求められる学力とは、「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」などの「新学力観に基づく能力」で、これを補完するためにAIやスマホの活用、GIGAスクール構想による一人1台の端末利用を通して、ICTを文房具として活用する時代だと話がありました。このような時代においてこそ、教育委員の視点は、これからの学校教育において非常に重要な視点になると話されました。これが印象に残っております。後は中島委員の報告と重なりますので、割愛させていただきます。

8月3日から4日にかけて、伊集院町が兄弟都市提携をしております滋賀県の多賀町に親善使節団の一員として参加させてもらいました。米原駅で多賀町職員の出迎えを受け、「千成亭伽羅 多賀別邸」という風格ある料亭で、多賀の久保町長、松居議長と対面し昼食をいただいた後、多賀町役場を訪問しました。約70人いる役場職員の半数近くの方々が正面入り口において迎えてくださいました。役場では、多賀町の概要を説明していただきましたが、およそ7,500人の人口を抱え、町の基幹産業は農林業で、高齢化や農耕地の荒廃などが課題であるものの、保育所増設や住宅の購入支援を行うなど住みやすい町として県内でも知られ、近年は隣接する彦根市から若い人たちの移住も多く見られるとのことでした。

伊集院町との兄弟都市提携についてですが、昭和35年に伊集院町の関ヶ原踏破隊が始まったようで、翌年の昭和36年に踏破隊が五僧峠から保月（ほうづき）地区を通過するときに、保月で地藏盆、いわゆる辻にある地藏さんにお供えをしたりして、子どもの無病息災を願う祭りがあつたらしく、これをお参りした踏破隊と保月地区民との間で交流が始まったようです。昭和40年になりますと、毎年8月末に鐘や太鼓を叩き、歌を歌いながら多賀町を通る一隊があることが話題になり、調べると、鹿児島から来た関ヶ原踏破隊であると分かり、以後、踏破隊が通過する集落の方々がおもてなしをしたり、五僧峠で出迎えて保月で宿泊させたりするようになったのがきっかけだったとのことでした。昭和43年に、踏破

隊が保月で宿泊中に地元の有線放送の取材を受け、その折に踏破隊会長の窪田廣治氏と当時多賀町の農協組合長で後に多賀町長となる林清一郎氏が出会い、さらに交流が深まったようです。高宮町小林家の文書に、関ヶ原から五僧峠を越えて保月に入った島津義弘の感謝状が保管されているらしく、そこには義弘の幼名である忠平と花押が書かれているものの、花押は義弘のものではないようで、おそらく薩摩勢の本体からはぐれた一行の中の誰かが感謝の意味を込めて、義弘の名を借りて書いたのではないかと説明がありました。昭和59年に当時の伊集院町長であった箕輪三九馬氏と多賀町長の林清一郎氏との間で兄弟都市提携が結ばれて現在に至っています。多賀町側は、妙円寺詣りに合わせて親善使節団を派遣しているようで、現町長の久保町長も平成29年に大雨のなかで妙円寺詣りの行程を歩いたと言われました。

その後、天地開闢（てんちかいびやく）を行ったイザナギ、イザナミの神を祭る多賀大社を参詣しました。資料を持って来ておりますので、後でご覧いただきたいと思います。官司の片岡氏の案内と説明で神社の中を参観しましたが、奥書院の襖絵には狩野派の作とされる富士山と鶴が描かれており、安土桃山時代の名残を残す池や建物など歴史を感じさせる重厚さに圧倒されました。町道である「多賀絵馬通り」は小京都をイメージさせる古い軒並みが連なり、先の大戦でも空襲を受けなかったらしく、築150年を超えるであろう古い建造物があちこちに見られました。夕食は、国の重要有形文化財に登録されている「かぎ楼」という神社近くの料亭でいただき、その後、1万個の提灯が飾り付けられてあると言われる多賀大社の「万燈祭」を見学しました。

翌日は永山市長の要望で、多賀町に2校ある小学校のうち、小規模校の大滝小学校を訪問しました。この学校は、児童数40人ほどの学校で、学校存続のために学力向上をはじめとする様々な取組が積極的に行われており、規模の大きな多賀小学校からの転入希望者に対しては、校区を越えて柔軟に対応しているとのことでした。久保町長の孫がこの学校に通っているとのことでしたが、よい学校だと絶賛されていました。校長の話では、在籍児童数から本来は複式の学級になるはずだが、1学年1学級にするために町に予算要求をして、1学年1学級を維持しているとのことでした。

た。

その後、あけぼのパークにある「町立博物館」で、多賀町でほぼ完全な形で発掘されたあけぼの象の化石や「町立図書館」などを見学しました。続いて多賀結の森「中央公民館」を見学しました。木造でできたすばらしい中央公民館です。12億4千万円をかけて造ったという公民館は、町産の木材がふんだんに使われており、温もりを感じる建物でした。町民がふらりと立ち寄りたくなる街づくりの拠点として、306席を抱えるホールや大・中・小、3つの会議室、多目的室、児童室、調理室、工作室、作業室などを備え、町民なら誰でも廉価で使用できるように料金設定がされており、訪問した当日も平日ながら多くの人でにぎわっていました。中央公民館の前には3万坪ほどの空き地があり、これを公園にする計画で基金の積み立てと国庫補助を基に、数年内には着工すると説明を受けました。時間の関係で、予定されていました

「河内風穴」に立ち寄れなかったのは残念でしたが、近くの蕎麦屋さんで昼食を御馳走になり、久保町長、山中教育長の見送りを受け、米原駅から新幹線に乗り多賀町を後にしました。

伊集院地域での活動では、夏休みのラジオ体操に参加しようと考えていたのですが、妙円寺地区子ども育成会がコロナの影響があるためにラジオ体操を中止しており、今年は参加できませんでした。以上でございます。

奥教育長：はい。ありがとうございました。胸元委員、お願いいたします。

胸元委員：はい。7月25日にありました市町村教育委員会委員研修会は都合により欠席いたしました。それにより7月の定例会以降の出会はありませんでした。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。内村委員、お願いいたします。

内村委員：7月25日の市町村教育委員会研修会では中島委員、鷓木委員が述べられましたが、補足しますと、東條教育長の挨拶の中で、色々と課題を話されましたので、少し話します。

まず、課題の1点目は「いじめ問題、生徒指導について」です。近年、いじめ問題の重大事態が発生しているのにも関わらず、いじめ防止対策推進法や国のガイドラインで示している手続きが重視されていない事案が報道されている。このような事態を踏まえて県教委は昨年11月、いじめ問題の対応にあたり、事案に

より問題を整理し、市町村教委へ示した。これについても市町村教委で確認してください。これまで繰り返しお伝えしているが、いじめを積極的に認知し早期対応に努めることが最も重要です。いじめ認知の対応につきましても、法令にのっとり適切に対応していただくようお願いします。

2点目は「確かな学力の向上について」です。子ども達がこれからの厳しい時代を乗り越え、新たな時代を創生していくために、確かな学力の定着は学校教育において重要な柱であります。県教委としても指導法改善や意識改革について、指導・助言を行っている。昨年度の全国学力調査において、本県の小学校の国語・算数とも全国平均を上回り、中学校では国語・数学とも全国平均を下回っているが、全国平均との差は年々縮まってきている。各市町村や学校はそれぞれに毎年、調査結果を詳細に分析し、確かな学力向上の定着に向けて具体的な方策を講じていただくようお願いします。国のGIGAスクールによる、小・中の一人1台のタブレット導入は、本県においては昨年度末に完了した。今年度は一人1台の端末をいかに効果的に活用するかが学力向上に大きく関わってくることから、県教委としてICTを効果的に活用した授業作りを推進するモデル校を指定して研究を進めていきます。

3点目は「教職員の働き方改革について」。業務改善アクションプランを平成31年度から3年間にわたり、教職員の働き方改革に取り組んできました。その結果、昨年度後半のフォローアップ調査について、アクションプラン開始時の平成31年度と比べ大幅に短縮されているが、目標とする上限時間については県下全体では達成されていない。平成3年4月の給特法改正により、学校設置者は教職員の業務量の適切な管理のために、必要な措置を高めることが義務付けられたことから、今後、学校においては教育委員会ごとに教職員の該当時間をチェックしていただき、学校の打開策推進に努めてほしい。

4点目は「教職員不足について」で、近年、特別支援学級の増加に伴い、教員の必要数が増えている一方、教員のなり手が減少している。現在、教員の欠員が生じている。県教委は欠員補充のため、ハローワークに求人募集することやその他色々な対策を講

じている。ぜひ、各市町村教委においても、危機感を共有して必要な確保に向けて協力をお願いしたい。

5点目は「特別支援教育について」で、特別な支援を必要とする子ども達が全国的に増加している。本県においても小学校・中学校で特別支援学級に在籍する児童・生徒が10年前と比べ、3.8倍となっており、対応する教職員や教育の確保が問題となっています。本日、皆様には特別支援の推進についてをテーマに意見交換をしていただきますが、各市町村の取組や課題等について共有してくださいとのことでした。

6点目は「新型コロナ対策について」で、7月に入り感染者が増加しており、7月15日には県下全域に爆発的感染拡大警報が発令された。これを受けて県教委では、学校衛生管理マニュアルに基づき、行動基準をレベル3に上げて、学校の実情に応じた感染防止対策を求めた。夏休みに入り、気の緩みから更なる感染拡大が懸念されることから、一人ひとりが緊張感を持って対応することが肝要であると考えています。以上、こうした課題を共有して解決に向けて取り組んでほしい。本日の研修会が実り多きものになり、各市町村教委と県教委との連携充実が更に図られるようお願いします、と結ばれました。後は二人の先生から報告がありましたので、割愛いたします。

8月12日は、令和4年度第1回日置市総合計画審議会に出席しました。基本目標①「働いてよし ひおき」②「住んでよし ひおき」③「訪ねてよし ひおき」④「ふれあいあふれてよし ひおき」の各項目についての令和3年度総合戦略評価検証にあたり、事務局より説明の後、質疑応答がなされました。日置市の人口は平成27年が49,249人、令和3年が46,804人で-2,445人です。自然増減は「出生数-死亡数」で、現在はマイナスでやむなしですが、社会増減の「転入者-転出者」では3年度は+18人となり、今後も社会増減に重点的に取り組んでいきますとのこと。人口統計では、15歳から25歳は転出増、25歳から60歳は転入増、65歳以上は転出入均衡。25歳から35歳は転入が多く、日置市で家を建築したり、結婚・出生が多いということでございました。70歳以上の転出者が多いのは、介護施設等の入居が理由であるとのことでした。高校生の日置市内就職率は年々減少傾向で、3年度

就職者251人のうち16人が日置市内に就職したとのこと。農林漁業に新規就業者が3年度は7人に増え、産地規模の拡大及び地域に根ざした担い手として期待されとのことでした。新規就農者にとって、材料費等の高騰で厳しい資金面の就農支援策が必要である、ということでした。

最後に、私の地域では小・中学生が、自主的に毎朝のラジオ体操に取り組んでいます。7月28日は奥教育長も参加されて、子ども達に激励の挨拶を頂きました。コロナ禍のなかですが、子ども達はマスクを着用し、運動靴で参加し、始まる前には花壇や庭の草取りをして、環境美化に努めています。後期課程の中学生が前に出て、前期課程の小学生にお手本を示しながら、軽快なラジオ体操をする子ども達の輝く未来に心から拍手を送っております。私からは以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。それでは私の方からですが、7月、8月は色々な行事等に出席いたしました。特に子ども達に関わるものについて、いくつかご報告をさせていただきます。

まず、7月26日、チャレンジ霧島に10名の子ども達が参加いたしました。霧島市の霧島自然ふれあいセンターで2泊3日の研修を行いました。それから同じ7月26日に2回目の子ども議会を開催いたしました。各学校代表、日吉学園は2人ですが、22名の子ども達が子ども議員として議場で質問・提案を行い、それに対して市長をはじめ市の執行部が誠実に回答をしていただきました。子ども達からの提案も非常に素晴らしいものが多く、子ども民生委員を作ったらどうかとか、中には「ひお吉くん」について、もう少し色々な所にいたらいいのではないかというような、子どもらしい素晴らしい提案がたくさんあったと思います。

7月28日木曜日、吹上高校の生産技術研究部の生徒5人が作ったソーラーボートの進水式が薩摩湖で行われました。「吹上かめきちR1」と命名されておりました。ソーラーパネルで発電した電気を使い、1人乗って走るんですが、非常にスピードもあり素晴らしいなと思いました。9月に福岡県の柳川市でソーラーボート大会が開催されます。この大会に出場するために作成をしたようでございます。

先程、鶴木委員からもございましたが、8月3日に関ヶ原戦跡



踏破隊が出発いたしました。今年は8名の子ども達が参加をしております。今年から若干、歩く距離は短くしている訳ですが、それでもコロナ等が心配されるなか、元気に出発し、全員元気に帰って来たと聞いております。後はそれぞれ中学生が全国大会・九州大会に行くという報告を市長にしておりまして、今日あたり全国大会を福島の方でもしているようですが、結果が楽しみでございます。つい先日は土橋中の生徒が人命救助で表彰されておりましたが、今日はその生徒さんが校長先生と、教育委員会の方にも訪問をしてくださいました。非常に勇気のある行動ということで見習うべき点も多かったかと思っております。以上です。

それでは以上で報告を終わりたいと思います。

#### 4 議事

##### 【報告第16号 令和4年度日置市一般会計補正予算（第5号）の市長への意見具申について】

奥教育長：議事に移ります。今日は報告が1件でございます。報告第16号 令和4年度日置市一般会計補正予算（第5号）の市長への意見具申について、説明をお願いいたします。久木崎事務局長。

久木崎局長：それでは1ページをお開きください。報告第16号は、令和4年度日置市一般会計補正予算（第5号）の市長への意見具申についてであります。令和4年度日置市一般会計補正予算（第5号）について意見を求められ、臨時に代理し、別紙のとおり回答したので日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものであります。

資料の6ページをお開きください。今回の補正予算は6月20日～21日にかけて発生した大雨によりまして予算計上が必要になり、専決処分を行ったものでございます。教育費で594万5,000円を計上するものでございます。内容につきましては、別冊の説明資料になります。4ページをお開きいただきたいと思います。説明資料4ページ、学校管理費で東市来中学校の校舎等防水改修工事で594万5,000円を計上するものでございます。先程説明をいたしましたとおり、大雨の影響によりまして、東市来中学校の校舎の一部と屋内運動場で雨漏りが発生しました。これに対応するため、緊急に予算措置をしたものでございます。以上で説明を終わります。

す。ご審議方よろしくお願ひいたします。

奥教育長：はい。ありがとうございました。ただ今説明があつたとおりでございます。この補正予算について特に質問等ございませんか。

(特になし)

よろしゅうございますか。

(特になし)

それではただ今の報告第16号につきましては、承認していただけますか。

(異議なし)

では承認といたします。議事は以上でございます。

### 【報告 第16号 承認】

#### 5 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長
  - ア 東市来支所教育振興課長
  - イ 日吉支所教育振興課長
  - ウ 吹上支所教育振興課長
- (5) その他

#### 6 閉会

奥教育長：以上をもちまして教育委員会8月の定例会を終了します。お疲れ様でした。

終了

署名委員 梶木親心 

署名委員 胸元直美 